



# 「ライン河畔より」

「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」  
ヨハネによる福音書 21 章 6 節



ホームページ <http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>  
 ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ <http://koelnbonn.jp/>  
 佐々木良子宣教師ドイツ連絡先 Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany  
 Tel: +49 1512910 6278 E-mail: [r310130s@gmail.com](mailto:r310130s@gmail.com) メールアドレスが変更されました。

## ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



昨年に引き続きコロナと共に年が明けましたが、時が経つのは早いもので 2022 年も残すところ 4 カ月となりました。今年も多くの方々から寄り添いお支えくださっているの、全てが守られてここまで歩むことができ感謝申し上げます。昨年と比べるとアクティブになり、行動範囲が広がったように思えます。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

つい最近、注意散漫な故に憂慮すべき事態を起こしてしまいました。私は小さなミスを繰り返すことは日常茶飯事ですが、今回は我がことながら信じられない思いでした。よりもよって私たちがお借りしているボンハッファー教会の大切な鍵を紛失してしまったのです。教会の鍵は特に慎重に扱っていたつもりですが、その日は鍵を閉めた後の記憶が全くありませんでした。お祈りしながら一人で悶々と 2 日過ごしましたが、これは私一人の問題では済まないの、役員の方々から事情を説明しました。

私は自分自身の弱さや欠け、罪深さを痛感しているが故に、「牧師なのだから・・・」「周りの方々に迷惑をかけてはいけない。」等々、戒めながら気張って歩いて参りました。その傾向はドイツに来てから拍車がかかったように思います。しかしこのことによる私の苦悩を役員の方や近くのおいしい方々が担ってくださることによって、頼る事、助けて頂くことは迷惑をかけるのではなく、関わって頂けることの幸いを経験したように思います。押し潰されそうな心が緩和されていきました。

「わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」(マタイによる福音書 11 章 29~30 節)  
 これまでこの箇所から幾度か説教をしていますが、今回は私自身のこととして語られて心に沁み入りました。背負っていた重荷が無くなった訳ではありませんでしたが、担って頂ける恵みを実感しながら何とか立ち上がることができました。

善後策を考えながら数日後、奇跡的なことが起こりました。私は自宅の鍵を出した時に、おそらくアパートの前に教会の鍵を落としたようで何方かが拾ってくださり、外の手すりに教会の鍵がかけられていたのです。無くした銀貨の警え話のように、重荷を共に負ってくださった方々と喜びを分かち合い、心から喜んでくださったことは大きな慰めとなりました。ボンハッファー教会の牧師先生は、「・・・どんなにかストレスだったことでしょう」と、傷を負った私の心に寄り添ってくださり、その温かさに目頭が熱くなりました。痛恨の極みでしたが、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」(ローマの信徒への手紙 12 章 15 節)の御言葉が心に深く刻み込まれています。今、私は担い合うこと、分かち合うことができる神の家族のお顔をしみじみと思い浮かべています。因みに鍵は、教会用の鞆に紐でくくりつけておきました。

末筆になりましたが、ドイツ文学者・小塩節先生(91 歳)が、5 月 12 日に召されました。私がケルンに赴任する際、「支える会」を立ち上げるために推薦人となってくださいました。また、日本に一時帰国の際には 1 ヶ月もの間、家族のように温かく迎えて頂き、先生のユーモアと楽しいお喋りで励まされました。これまで私も、そして教会も、先生のドイツ宣教に対する熱い思いとお祈りでどれほど支えられたことでしょうか…。深く感謝すると共に「また会う日まで!!」 Viel Glück

## ドイツ州教会合同洗礼式 8月13日

私たちがお借りしているボンハッファー教会をはじめ、ケルン市内のドイツ州福音主義教会の合同洗礼式が、ライン川湖畔で一斉に行われ、役員の方々、日本からいらした橋本いずみ先生と一緒に参加しました。

「多様性」をモットーとし、ライン州・首相やケルン市教育長はじめ、40 人の牧師を含む約 3000 人が集まり、196 名の子どもたちが洗礼を受けました。我が子のその姿に涙するご両親もおられ、私たちも感動しました。教会離れが著しいドイツの昨今ですが、希望のスタートのように思われたものです。

日本では自分が通う教会は独自で選びますが、ドイツの場合は居住する地域の教会に自動的に振り分けられます。この日牧師たちは、自分が受け持つ地域教会の子どもたちを見つけ出して、次々に洗礼を授けていきました。洗礼盤と洗礼水をもって移動する姿は、神様からの祝福そのものでした。

T シャツ姿のラフな格好で座っていた人々が、突如、黒いガウンを羽織り「牧師に早変わり」する姿があちらこちらに見られ、コミカルな感じすらしました。洗礼を受けた子どもたちが、ドイツの次世代を担ってゆくことを祈ります。



大きなスクリーン越しに、プログラムの一つひとつが映し出されていました。



## 佐々木先生のお働き &amp; ヨーロッパの日本語教会の祈りの課題

橋本いずみ

わたしは、西宮一麦教会で牧師をしている橋本いずみと申します。3ヶ月サバティカルのうち約2ヶ月間、佐々木良子先生のアパートに荷物を置かせていただいて、ヨーロッパ各地を旅しています。8月14日と28日には、ケルン・ボン日本語キリスト教会にて、御言葉の奉仕をさせていただきました。佐々木先生と一緒に過ごす中で、わたしが見た佐々木先生のお働きを紹介し、ヨーロッパの日本語教会の祈りの課題を共有させていただきます。

ヨーロッパに在住している日本人たちは、三つのタイプがあるということです。一つのグループは、学生または、研究者、企業からの派遣として、短くて1年長くて5年程度いる人たちです。彼らの多くは、助け手を必要としている場合が多く、ヨーロッパの日本語教会の人たちは、日本からのゲストを快く迎え、よく助けています。このグループに必要なことは、ヨーロッパで助け、祈られた経験を、主からの賜物として、日本でもイエスさまに繋がって生きていくことができるように、導くことです。そして、その共同体の中で、助けられることを経験して、日本に帰っていきます。

もう一つのグループは、国際結婚をした人たち、もしくは、日本人夫婦であったとしても、こちらで永住することを考えている人たちです。彼らの子どもたちは、日本語が第一言語ではありません。難なく話せる人たちもいますが、その数は、多くないと思います。彼らには、日本語でも、現地の言葉でも、御言葉を語る必要があるのです。彼らには、現地教会との結びつきが必要です。もう一つのグループは、なんらかの事情で、第一言語は日本語ではないけれども、日本語のコミュニティの中にいる人たちです。日本での伝道に召されている人たち、子どもが日本人と結婚した人たち、なんらかの事情で、日本に強い関心を持っている人たちです。

土曜日の夕方、佐々木先生と一緒に散歩に出かけると、道でばったり、ママの会に来ていた親子に会いました。日本に完全帰国される方を迎えて、一緒に食事をする夜もありました。国境を超えて、スイスのトゥーンの訪問にもご一緒させていただきました。

教会の方々は、日本語で礼拝を捧げることとても喜んでおられます。ヨーロッパ・キリスト者の集いに参加しましたが、そこに関わっている教会でも、専任の牧師を招くことが難しいようです。コロナ以降、オンラインが活用されているということも聞きました。現在、ケルン・ボン日本語キリスト教会が、場所を借りているボンヘッファー教会も、2週に一度で、他の2週は、別の教会で行われているそうです。オンラインを駆使しながら礼拝する共同体、伝道する共同体が形成されていくのではないかと思います。嬉しいお知らせは、先生が面談を続けていた方が、洗礼に導かれたことです。

ヨーロッパ・キリスト者の集いでは、教会に仕えている信徒の方々にお会いしました。一つの教会専任の牧師を迎えること。毎週、一つの場所に集まって、礼拝を守っている方々は、少ないようです。どこの教会もオンラインでの礼拝を用いています。実際に顔と顔を合わせて礼拝を守ること、一緒に祈り合い、時には、気に食わない仲間たちと共にあること。キリストを愛し、教会に仕える人を育てていくための、牧会が必要だと感じています。

## キリスト受難劇—Passionsspiele— 8月11日 オーバーアマガウにて



ケルン・ボン日本語キリスト教会月報より一部抜粋  
ドイツ・バイエルン州のガルミッシュ・バルテンキルヒェン郡にある閑静な小さな村で10年に一度、村人による受難劇が行われています。本来2020年の予定でしたが、新型コロナウイルス感染により、二年延期されてやっと今年の5月14日(土)から10月2日(日)迄上演されています。

ヨーロッパ・キリスト者の集いの後、四人で受難劇を観て参りました。ミュンヘン日本語教会のH先生の友人であるドイツ人のB

さん(カトリック信者)が、ガルミッシュの村に住んでおられるので2日間宿泊させて頂きました。初日は私たちがカレーライスを作り、翌日にはBさんがお得意料理を振舞ってくださり、主を中心に恵み豊かな時を持たせて頂きました。可愛い猫を飼っておられますが、部屋中を運動会のように走り回って大歓迎してくれました。私たちが帰った後、寂しくなり餌を食べなくなってしまったとお聞きしました。この時にドイツに住んでいたこと、そして多くの方々のご親切によってこのような貴重な時が与えられたことに感謝しています。



受難劇が行われるきっかけは、1632年この村にペストが猛威を振るい、村人600人中、100人が犠牲になったことからです。「もし村を守ってくれたらイエス・キリストの受難劇を上演する」と、敬虔なカトリック信者たちが神様に誓いを立てたことから始まりました。そうしてオーバーアマガウは難を逃れ、村人たちは誓いを守り、400年に亘ってキリスト受難劇が演じられ続け、信仰と神への感謝を表しています。

年ごとに、監督や役者の解釈によって演技は変わってくるようです。宿泊させて頂いたBさんは2010年もご覧になり、10年前のイエス様は物静かな感じだったそうですが、今年のイエス様は力強さが全面的に出ていたと語っておられました。そのような変化を比べながら観ることができるのも魅力の一つのように思いました。恐らく2030年もまた違ったイエス様のご受難を観ることでしょう。

処刑を求めるユダヤ人の群衆の叫びと、イエス様の苦悩もさることながら、イスカリオテのユダの苦悩がかなり長い時間を費やしていたことが印象的でした。世界中からこの場に集まり、十字架を見上げ、イエス様のご受難と一緒に覚えるこの劇がこれからも上演されることは、実に感慨深いものがあります。

スイス・トゥーンへの訪問 ～Tさんの洗礼までの歩み～



メールマガジンでは既にご報告していますが、日本に住んでおられるスイス人の宣教師からの依頼で、4月よりスカイプにて週に1回、スイス在住のTさんとお交わりが始まりました。パートナーであるOさんは、スイス人のクリスチャンで、Tさんの話し相手として日本人女性牧師を探しておられ、スイス→日本→ドイツと、巡り巡って私の所に辿りつきました。そして、8月22日に対面で初めてお会いすることができました。

当初、お会いしたこともない方とどのように接したらよいのか見当もつかず、まずはTさんの日常生活のお話をお聴きすることから始まりました。私を含めて日本語でストレスなく意思疎通を図れることは、外国で生活する者にとっては力を抜ける大切な安らぎの場なので、そのような時を共に過ごすことにしました。

次第に、その日の会話の内容にあった聖書箇所のお言葉を紹介し、お祈りをもって終わるというパターンが常となってきました。Tさんは聖書の御言葉を素直に受けとめ、そして、私がお祈りすることをとても喜んでくださいました。スポンジが水を吸うように、飛躍的に御言葉がTさんの心に宿ってゆくのでした。

このような幸いな時を経て、神様のこと・聖書のことを学び始めることになりました。後日知ったことですが、スイス在住でTさんご家族のお友だちご一家がクリスチャンで、Tさんのために祈り、様々な面でフォローしてくださっていたのです。パートナーであるOさん、そのご両親の祈り、お友だち家族の祈りを通して、神様がTさんの心に触れてくださり、クリスチャンになりたい!!という願いが与えられました。

Oさんの通っている教会でクリスマス頃に洗礼を受ける準備を、スカイプを通して学び始めた矢先に、8月28日にスイスの現地教会で洗礼を受けるということが決定しました。ご本人も周りの方々も私も驚いたことですが、神の時だったようです。近くの川で、古い自分に死んでイエス様の新しい命を頂いた姿は、正に神様の御業を見せて頂いたように思います。学びはこれからもスカイプで続けて参りますが、思いがけずこのような一端を担わせて頂き、主の不思議な導きを心から感謝しています。



ちょこっとコーナー

★ 9ユーロチケット 恩恵 ⇄ 不利益?!

6～8月にかけて3ヵ月限定で、特急列車を除いたドイツ国内鉄道乗り放題のチケットが、1ヵ月・9ユーロで販売され、3800万枚が売れたとのこと。とても素晴らしい企画でしたが、その為に週末には人が殺到して、電車運行状況に大きな乱れが生じました。遠くに住んでおられる教会の方は、3ヵ月間も会堂での礼拝においでになることができませんでした。

私も家庭集会に行く道中で、電車が突然運休になったり乗っていた電車が、急に行き先変更になったり、とハプニング続きでした。恩恵も受けましたが、悲喜こもごも……。9月からは平常に戻らと思うので、ホッとしています。

★ 気になる電気とガス お祈りください!!

ウクライナ・ロシアの戦争の影響により、生活に影響が出そうです。9月1日より、節電のために夜のネオンサイン等を中止する予定だと言われています。また、ロシアが西欧へのガス供給量を大幅に削減した為に、「ガス賦課金」なるものがかけられ、秋から冬にかけてエネルギー費用が、前年に比べて3倍になるとの事で恐ろしさを感じています。

先日のニュースでは低所得者、市民の1/3が支払い不可能になるという見込みで、エネルギー支援金を検討中とのこと。今年の冬は、なるべくエネルギーを使用しない工夫をしていかななくてはならない状況になりそうです。特にドイツが厳しい状況ですので、全ての方々を守られますようにお祈りお願い致します。

★ 日本への一時帰国の願い

コロナ禍のために暫く帰国することができず、もうすぐ3年となります。この間、支えてくださっている敬愛する方々が召され、感謝の言葉を直接お伝えすることができず、申し訳なさとお寂しい気持ちでいっぱいです。

これまでは、日本入国の規制がとても厳しくてそのチャンスを逸してしまいましたが、最近は大分緩和されてきたので、来春には一時帰国できればと考えています。御心になりますようにと祈っているところです。

★ もう一人の受洗準備会

ヨーロッパ・キリスト者のつどいに参加されたブリュッセル日本語プロテスト教会の大学生が、受洗を希望されています。現在、教会は無牧なので、ブリュッセルの教会と関わりをもって私がそのお手伝いをさせて頂くことになりました。

洗礼は、お母様そして、御家族の所属する日本の教会で受けられることになり、それまでの準備はケルン・ボン教会でということ、前例のない形での洗礼式となります。多くの方々との関わりの中で、このようなお恵みを一緒に与ることができる幸いを頂いています。

諸々のご案内 よろしかったらご覧ください!

★ヨーロッパ・キリスト者の集い HP  
スライドショー

<https://www.europetsudoi.net/>  
<https://youtube.com/watch?v=hpZKswE8J7c&feature=share>

★日本基督教団ホームページ 10月説教動画  
「神への決断」と題して10分程のショートメッセージが1ヵ月アップされます

主にあってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝いたします。

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告			
2021年4月～2022年3月			
(単位:円)			
取	入	支	出
支援献金	3,156,100	宣教師支援金	3,128,420
特別献金	10,000	社会保険料等	105,600
イースター献金	34,000	支援金(クリスマス献金)	99,000
クリスマス献金	99,000	ニュースレター発行	104,362
夏期献金	2,000	教会感謝献金	60,000
雑収入(受取利息)	42	事務通信費	23,088
預り金*	367,832	委員会費	773
		雑費(振込手数料)	26,299
		雑費(郵送通知料)	12,760
		退職手当積立金	370,000
		預り金*	367,832
小計	3,668,974	小計	4,298,134
前年度繰越金	7,368,379	次年度繰越金	6,739,219
合計	11,037,353	合計	11,037,353

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告			
2022年4月1日～8月31日			
(単位:円)			
取	入	支	出
支援献金	1,347,000	宣教師支援金	830,256
イースター献金	17,500	社会保険料等	105,600
夏期献金	5,000	教会感謝献金	25,000
		事務通信費	5,740
		雑費(振込手数料)	9,844
雑収入(受取利息)	14	雑費(郵送手数料)	4,620
預り金	138,500	預り金	138,500
小計	1,508,014	小計	1,119,560
前年度繰越金	6,739,219	次月繰越金	7,127,673
合計	8,247,233	合計	8,247,233

\*預り金はケルン・ボン日本語キリスト教会への献金・その他です。

2021年度会計監査報告 佐々木良子宣教師を支える会殿

佐々木良子宣教師を支える会の2021年4月1日から2022年3月31日までの会計決算について関係書類、銀行預金及び郵便振替などを慎重に監査いたしました。その結果、事業の執行及び収支決算は適正に処理されており、支援団体としての会計が適性に維持管理されていることを認めました。ここに御報告いたします。

監査人 八重樫幸栄

献金者 ご芳名(敬称略 五十音順) 2022年3月1日～2022年8月31日

支援献金

相原美枝子 青池博美 朝位真士 朝位フミ子 阿部順子 石井泰子 石川 徹 石川真知子 石崎孝司 糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いく子 伊藤君江 伊藤祐子 伊東正壽 伊東みどり 井上 馨 伊野彰一 今泉聖美 牛山輝代 内城節子 上杉洋子 上杉真子 浦川 肇 浦川恵子 江坂宏子 榎本明子 榎本康治 遠藤正一 遠藤教子 大作 寿 大橋 章 岡崎 響 小塩トシ子 尾城信雄 尾城素子 鹿郷雄通 加賀谷則子 片石やすこ 片山まどか 桂川信子 加藤悦子 加藤弥生 金坂久子 金田佐久子 金森勝芳 亀井耕二 神尾祐美子 川田裕生 木下宣世 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 久多良木和夫 久多良木志津子 空閑信憲 熊 成子 熊谷千鶴子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 小泉眞理 小林興司 小宮房江 近藤眞一郎 近藤美穂子 齋藤悦夫 齋藤喜江子 斉藤幸子 佐伯千恵子 榮 直美 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 佐々木千沙子 佐藤恒夫 佐藤フデ子 佐藤 誠 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 汐碓直美 薮 利勝 薮 清江 篠田真紀子 篠原照美 嶋 優子 島 隆三 島 静江 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 神保ふみ子 鈴木 啓 鈴木恵子 鈴木洋史 鈴木初子 鈴木優子 春原禎光 曾根邦彦 高野加奈子 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田尻可納子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築つゑ子 都築英夫 寺村智恵子 鶴巢香穂利 鶴巢和徳 中藪好美 中山良江 永井美智子 永岡孝子 西海満希子 西村淑子 抜井太一郎 抜井教子 沼 みどり 野村啓二 橋本いずみ 濱田純子 濱田 楓 原嶋和夫 原田時近 原田明子 張谷廷河 張谷麻帆 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田真希子 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本律子 藤森知子 藤谷正一 古屋修身 古屋治雄 星野 環 細田多恵子 本多久恵 本田昌義 牧田 茂 榎本早苗 明瀬眞弓 松井美代子 松永映子 松丸香世子 松本幸子 箕輪幸子 皆川昌子 宮崎勇 宮崎美代子 宮本峯子 宮本明実 宮本容子 村尾きよ子 村松紀子 物井恵一 物井ますみ 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 山口紀子 山崎広子 山下 誠 山根芳枝 山本房枝 山本史子 横田光江 横山義孝 横山勝よ 米田昭三郎 和海豊子 和田洋子 渡辺敬子 渡部裕子 匿名1名

団体 赤羽教会 浅草教会 荒川教会 インターナショナル・バイブル・フェローシップ 大阪教会 柏教会 京都復興教会 小松川教会恒励会 小松川教会婦人会 塩谷一粒教会 下谷教会 清水ヶ丘教会海外宣教会 洗足教会 喬木教会 天門教会 西宮一麦教会 日本キリスト伝道会

ホーリネスの群首都圏教師会 三崎町教会みさき基金

クリスマス献金 亀戸教会 イースター献金 佐藤誠 沼みどり 藤谷正一 夏期献金 佐藤 誠 特別献金 鈴木優子 横田光江

\*\*大変失礼ながらお名前が洩れた方がおられましたらお知らせくださいますようお願いいたします。

一 編集後記

日頃は佐々木良子宣教師の働きを覚えて、お祈りとご支援を賜り、心から感謝申し上げます。先生の宣教活動も7年目に入り既に半年を過ぎようとしています。世界は言葉には言い尽くせないほどの激動期のなかにあり、祈る課題が益々増えていくように思われます。

その中であっても、主の憐れみと慈しみにより、Skypeというオンラインのツールにより、毎週の礼拝が会堂やオンラインにより、献げられ、御交わりもでき、神様のお恵みに心から感謝しています。対面がままならないこの時期でも新しい方や、受洗に導かれる方も加えられています。また、無牧のブリュッセルの教会の方も一緒に、礼拝を守る幸いを噛みしめています。

更に先生の宣教活動の働きの前進のためと、ロシアウクライナ戦争のために、燃料費などが3倍に引き上げられるという急激な物価高騰により、生活の支えがこれまで以上に必要となります。そのためにも皆様のお力添えが頼りとなります。どうぞご理解と共に引き続きお祈りとお支えをいただきたくお願い申し上げます。これまでもお支えくださっている皆様の上に、主の祝福が豊かにありますようにお祈り申し上げます。

佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ

<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki> ← 変更されています!

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ

<http://koelnbonn.jp/>

連絡先「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一

〒134-0081  
東京都江戸川区北葛西 4-3-9・小松川教会内  
Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-5262  
Email: [rsmissonary.hp@gmail.com](mailto:rsmissonary.hp@gmail.com)

送金先 郵便振替: 00120-3-450845  
銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463  
(普通) 口座 0113856